

平成22年9月24日

貧酸素水塊速報 (2010年)

〔発行〕 千葉県水産総合研究センター
神奈川水産技術センター

千葉県農林水産技術会議
内湾底びき網研究会連合会

〔協力〕 千葉県環境研究センター
第三管区海上保安本部
国立環境研究所

東京都環境局
千葉灯標モニタリングポスト

(今回の速報は" "の機関の観測データを使用して作成しました)

平成22年9月22日観測結果

貧酸素水塊は、依然として内湾中央部から北部に分布しており(図1,2), 規模も高いレベルを保っています(図3)。 ほぼ無酸素な水塊(0.5ml/L以下)は、9月中旬からの断続的な青潮で表層へ上がったため、分布域がかなり小さくなりました。しかし、青潮が起こる危険性はまだありますので、引き続き注意が必要です。

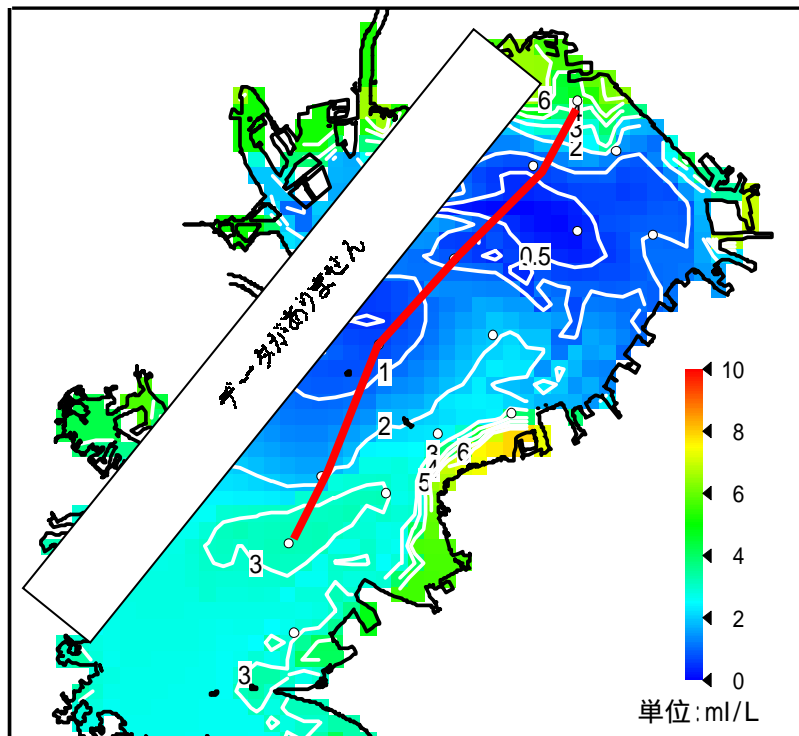


図1 底層の溶存酸素量の分布 (赤線は縦断ライン)

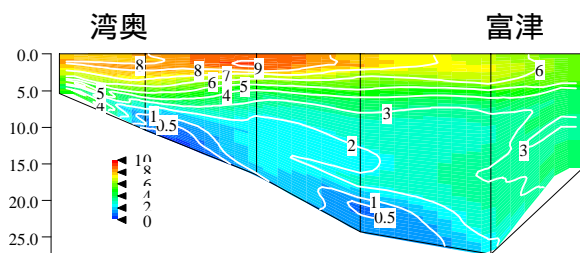


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

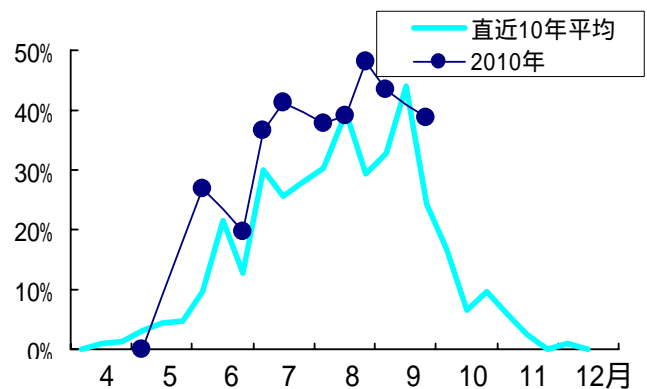


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)